

# 石神中学校だより18号

発行日：令和4年1月20日

2021重点目標〈課題を持って自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司

## イギリスロセット校との姉妹校交流

### ①石神日英交流の歴史について

石神中学校とイギリスロセット校の姉妹校交流は、1987年（昭和62年）より英国羊毛公社の仲介によって始まりました。交流活動は、隔年に相互訪問を行っております。姉妹校となったきっかけは、中世騎士道の歴史を今に残しているハロゲート市のロセット校が来日するのを機会に、英国羊毛公社が、馬に関連のある姉妹校を読売新聞社に依頼したことでした。福島県原町市（現在の南相馬市原町区）に相馬野馬追があるということで原町市へ申し入れ、要請を受けた市は校長会で検討した結果、石神中学校が姉妹校活動を進めることとなりました。したがって、本校の国際交流活動は、地域性、特に騎士道、武士道の伝統文化を背景としているところに特色があります。ハロゲート市は、人口約7万人でロンドンより約300 km 北上した所にあります。ロセット校には、12歳から18歳までの生徒が所属しています。

ロセット校（ハロゲート市）

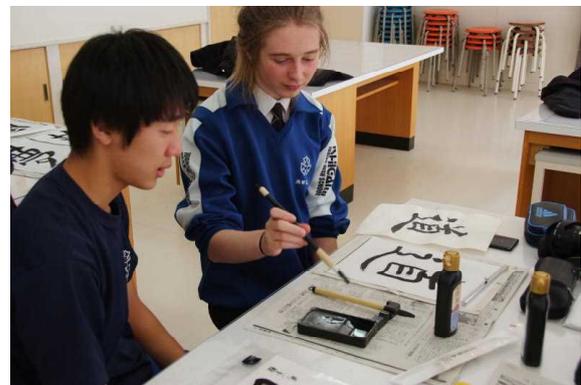
本校生徒とロセット校の生徒たち



### ②過去の石神日英交流の様子

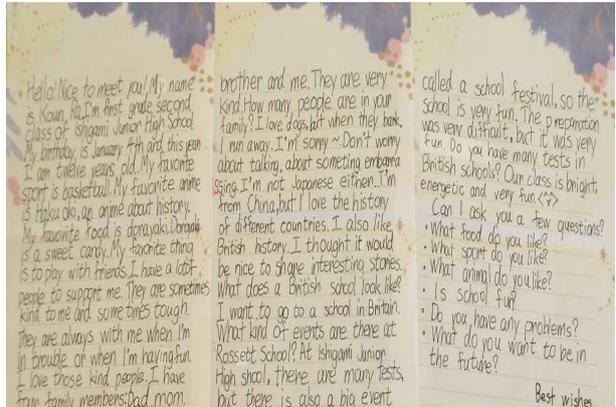
訪英交流では、ロセット校の生徒の家へホームステイをしたり、博物館や街中へ一緒に出かけたり、市役所を訪問し、ハロゲート市についての説明を市長さんから受けたりしました。また、ロンドン市内での学習旅行も行いました。

訪日交流では、ロセット校の生徒が石神中の各教科の授業に参加したり、書道体験やボードゲームを楽しんだりしました。



本校生徒とロセット校生徒の交流の様子

### ③令和3年度石神日英交流について



今年度も世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大のため、残念ながら従来の訪英・訪日交流は中止とされました。そこで昨年度に引き続き、手紙のやり取りを通しての交流活動を計画し、全校生徒から希望者を募りました。その結果、15名の生徒が心を込めて、英語で自己紹介、趣味、自分たちの住む地域や学校についてなどの内容の手紙を書きました。また、学校生活の一端の紹介として、「自分で作るお弁当の日」の写真を紹介したり、文化祭の様子についての写真や動画も送りました。2021年12月27日に発送し、本年1月4日にロセット校へ無事に到着したとのことです。互いに未だ様々な制限のある中での生活ではありますが、生活国境を越え、互いのことを理解し合うことの喜びや積極的な姿勢を育成していきたいと感じています。今後、ロセット校から情報が届きましたら紹介いたします。



本校生徒らが自分の思いや考えを手紙に書いて送りました

**<ねがい>** “Because I’m very hungry” 日本人の男性が、カナダのある町でレンタカーを借り、偶然発見したジャパニーズレストランに入ると、初老のカナダ人が実に上手に箸を使って食事していました。男性は、思わずそのカナダ人に「何年か日本に住んだことがあるのですか」と声をかけると、「いや、日本にはいったことがありませんよ」と言うのです。男性は、びっくりして「それにしても、箸の使い方が上手ですね。どうしてそんなに上手なのですか」と尋ねました。その時のカナダ人の返事は“Because I’m very hungry”。つまり、必要ならば、外国人でも箸を使えるようになるということでしょうか。私は、この言葉から、少なくとも、能力や才能の問題ではなく、「目標と努力」がおのずと好結果に導いてくれることを再認識させられました。

